



ハイブリッド・エコ・ハートQ 「特別優秀賞」・「特別優秀企業賞」W受賞!!

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」は国土交通省の外郭団体である(一般財)地域開発センターが主催する住宅のエネルギー消費削減を目指した住宅性能に関する審査会です。



坂本審査委員長講評



株式会社 松下孝建設
専務取締役 松下 拓也

ひこうき雲

発行所
髯 松下孝建設
発行人 松下 孝行
編集責任 齋藤 恭誠
■本社
〒891-0108
鹿児島市中山1丁目14-29
TEL 099-267-7594
☎ 0120-079-089



公式記念写真撮影

坂本審査委員長より受賞

ごあいさつ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて恒例の【ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2016】審査で本年もまたW受賞の栄誉に輝くことが出来ました。偏に松下孝建設の施工技術を信じて施工をお任せいただきました、お施主様のお蔭と衷心より感謝申し上げます。住宅性能は毎年、毎年進化しております。松下孝建設もまた常に最新の技術を求めて一步一步進んでおり、この歩みは決して止めません。今後とも皆様方の温かいご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー審査委員会

最高顧問	伊藤 滋	早稲田大学特命教授
委員長	坂本 雄三	国立研究開発法人建築研究所理事長
委員	秋元 孝之	芝浦工業大学教授
	寺尾 信子	(株)寺尾三上建築事務所代表取締役

(評価の視点)

視点1	外皮・設備の省エネルギー性能 住宅の躯体・開口部・設備機器の性能を【住宅の省エネルギー基準※(平成25年10月1日施工)により数値化して評価 ※エネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断の基準(平成25年経済産業省・国土交通省告示1号)
視点2	多様な省エネルギー手法の導入 視点1での定量的な評価が難しい省エネルギー技術・手法などを総合的に評価
視点3	省エネルギー住宅の普及への取り組み 供給戸数、供給価格、情報発信等を考慮し、省エネルギー住宅普及への各種取り組みを総合的に評価

「ハウス・オブ・ザ・イヤー」表彰制度とは?
建築躯体とエネルギー設備機器をセットとして捉え、トータルとしての省エネルギー性能の優れた住宅を表彰し、さらなる省エネルギーによる環境負荷削減の推進と快適な住まいの実現に貢献することを目的としています。住宅性能は躯体と設備とのバランスが悪ければ、過昇熱(オーバー・シュート)などで快適性を通り越した不快感を感じます。住環境の適切なコントロールが出来なければ、この様な思わぬ欠陥住宅になります。

快適な環境は躯体と設備のバランスが重要です。例えば、冬に熱帯夜を造って暑がっているのにエネルギーのムダです。そんなことにならない住環境を造る技術を競うコンテストです。

ハイブリッド・エコ・ハートQ 「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」 加世田展示場 公開中!



加世田展示場は将来、ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)の為に太陽光パネルが取り付けられる様に大屋根構造になっています。また、新しく開発された新型暖冷房空調システムが取り付けられており、夏も冬も低温空調による省エネルギーで快適なシステムが稼働する予定です。平屋感覚の住宅ですが、屋根構造を活かして一室だけ2階に居室が設けられています。大きな開口部と大屋根の今までの加世田にはない全く新しいコンセプトで設計された住宅ですから是非、ご覧頂きたいと思えます。この展示場で新しい松下孝建設に出会えることと存じますので、ご家族の皆様でお出かけください。心からお待ち申し上げます。



松下孝建設の最新空調システム 「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」 鹿児島展示場 公開中!



鹿児島展示場は、「ゼロ・エネルギー・ハウス」対応のモデルハウスです。松下孝建設の『ハイブリッド・エコ・ハートQ』工法は、エネルギー消費が少なく、多くのお施主様が現状のオール電化・電気料金と太陽光発電の設備費用を比較した場合、現状での設備設置を望まれないため、いつでも設置可能なように屋根も太陽光発電対応にしています。発電設備は太陽光発電ばかりではなく「エネファーム」などに選択肢が広がっている他、蓄電池も設置可能なまでに安くなり、「プラグイン・ハイブリッド自動車」での蓄電も可能です。最良の設備が現れるまで、設備の搭載をお待ちいただく事も選択肢のひとつと位置づけ、本展示場は発電設備の搭載を見送っています。



ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013大賞仕様住宅 川内展示場 公開中!



本展示場は【ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013】大賞受賞工法の展示場です。エアコン1台程度で冬も夏も快適な暖冷房を可能とした省エネルギー、超高性能住宅です。本展示場は無事売却の運びとなりました。多数のご応募頂き有難うございました。現在、展示公開は継続しておりますので、是非ご覧ください。お待ちしております。

ハイブリッド・エコ・ハートQ「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」 始良展示場 公開中!



ムダを排除して生活のし易さだけを追求すると、ただ広い住宅よりも機能的になります。リビングは吹き抜けになっていますが、冬暖かく、夏涼しい省エネ住宅です。その秘密は、住宅性能の高さにあります。「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013」の大賞受賞を始め優秀賞・優秀企業賞を連続受賞を続けている松下孝建設ならではの快適性と理想的な温熱環境を実現し、デザインにも優れた住宅です。本展示場は無事売却の運びとなりました。多数のご応募頂き有難うございました。現在、展示公開は継続しておりますので、是非ご覧ください。お待ちしております。

□住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。 ☎ 0120-079-089



外観



リビング



リビング(ホームシアター)



キッチン



ダイニング

「住宅を建てるに当たって地元
の工務店から、大手プレハブメ
ーカーに至るまで様々な展示場
を見学しましたが、デザイン的な
事もありませんが、長期的な安心
のためには躯体も大切という想
いがあり、構造なども見学させ
て頂きました。その結果、松下
孝建設の躯体構造が最も良かつ
たと思えました。」

妻が学生時代、建築を学んで
いたので解説してもらって知っ
たのですが通常は集成材の柱で
3・5寸の柱が一般的なのに、

「松下孝建設」のお施主様にお聞きしました。

お施主様 N邸 (4人家族) (建設地 鹿児島市向陽二丁目)

本物とは、何か? 百年住宅を建てる知識②!

松下孝建設の柱は4寸角の無垢材で、隅部の火打梁なども普通は金物で使用されているのに4寸角で丁寧に組まれているのが全く違う様です。妻は建築中も興味があつて度々見学していたのですが、大工さんとも腕が良いと話していました。」と御主人。

「自分の家ですから、度々見学させていただきましたが、本当に良い家を作ったと頂いた、本当に良いです。実家が福岡で冬は寒いですが、鹿児島も九州一の積雪地域とかで、決して暖かくなつていないので暖房経費などもエアコン一台で十分暖かく期待

通りの高性能住宅です。今日の現在21・5℃でエアコンは停止しています。」と奥様。

普通の住宅よりも低温設定に感じますか?

「室内では着衣量が1クロ程度になるように生活しています。裸の状態の適温は30℃ですが、着衣が1クロ(セーターなどを着ている状態)だとマイナス9℃が適温になりますから30℃マイナス9℃で21℃位が適温です。湿度と気流も関係しますが、少しアバウトな解説ですが、この温暖環境に慣れてしまうと寒さは感じませんよ。」と奥様に解説していただき、高性能住宅は住まい方が重要なのだということが解りました。



N様邸ご家族



和室

映像と音響を楽しむことが出来ます。後は性能の良いスピーカーが設置できれば、主人の目論見は完了するようですが、まだOKは出していません。」と奥様。

「多くのお施主様を見学されることをお勧めします。営業マンの対応も違います。その中から、合理的な本物を見極める必要があると思えます。もう少し早く建てたかったですね。」と御主人。

「大手だから良いという考え方は一応封印して、自分が納得できるかどうか問題だと思います。特に光熱費が一応の目安になるようです。自分が建てる住宅が例えば35坪ならば、それを目安にして、見学した施工店に光熱費の概要を聞いて、比較するという方法があります。その時の解説や説明に納得できたら話を進めると良いと思います。明快な回答が出来ない場合は止めた方が良いと思います。」と奥様。

「冷暖房費ばかりでなく光熱費を含めても省エネエネルギーな住宅です。集合住宅や借家に住んでいた時とは比較にならないほど安上がりです。エアコンを使用しない中間期はオール電化で7・8千円も使っていないと思います。真冬でも1万5千円位じゃないかと思えますよ。省エネルギー住宅という話しが打ち合わせの時に頻りに出てきました。本当に省エネエネルギー住宅だと思えます。鹿児島県の数ある工務店の中から地元の

住まい心地についてお聞きしてみると。

「全館温度差がないので住宅全体をオーブンに使えるから、子供達の声が聞こえます。姿も見えますので、保護柵で仕切っておくだけで安心出来ます。私達の趣味は映画鑑賞と音楽鑑賞です。ホームシアターをホームシアターにしていますが、開口部が樹脂サッシの複層ガラスで30デシベルも防音効果があるという事で、ご近所迷惑を気にしなくても良いので心おきなく

HOUSE OF THE YEAR IN ENERGY 2016 ハイブリッド・エコ・ハートQ 「特別優秀賞」・「特別優秀企業賞」W受賞!!

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」主催(財)日本地域開発センター[主務官庁:国土交通省]において、松下孝建設のハイブリッド・エコ・ハートQが、「特別優秀賞」及び「特別優秀企業賞」を受賞しました。「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」に変更になって以来、2013年度の大賞を含め連続4度のダブル受賞となりました。偏にお施主様のご協力の賜と深く感謝申し上げます。



「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」は「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック」を継承した国土交通省の外郭団体である(一般財)地域開発センターが主催する住宅のエネルギー消費削減を目指した住宅性能に関する審査会です。

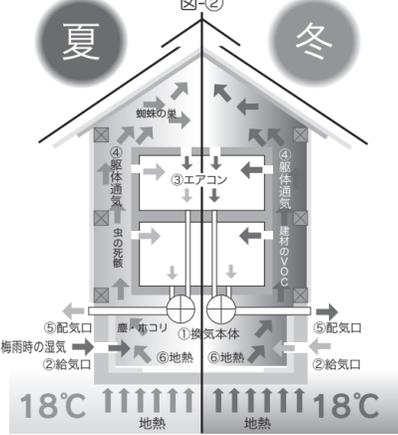


住宅造りに失敗しない工法の基礎をお知らせ致します。

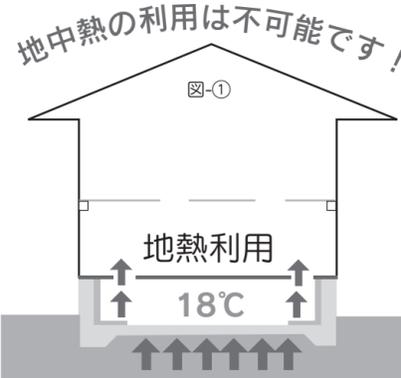
今回からは、松下孝建設が発刊した「百年住宅を建てる知識」を紹介致します。記事内容に興味のある方は、松下孝建設のホームページや☎「0120-079-089」でお申し込み頂ければ進呈致します。大切な家族のための住宅ですから、より快適な住環境を求めて、様々な施工店の工法を検討されていると思いますが、中には根拠が薄弱で欠陥を引き起こす危険性がある工法など、選択しない方が無難な工法もあります。2020年にはZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)が平準化されます。この小冊子は、誰も詳しく教えてくれない工法による断熱や気密の違いや根拠、ヒートポンプによる「低温暖冷房システム」の基本について解説しています。皆様の住宅建築にお役立て頂ければ幸いです。

■この様な図には、だまされないでください!用のいましめ!

■図で見れば、夢のような快適な住環境が想像できますが、この図の様に躯体の中を暖冷房空気を通した場合、様々な問題が浮かんできます。構造躯体の内部の掃除は可能なか?給気口から露や湿気が侵入しないのだろうか?なぜ、わざわざ基礎に換気装置を設置するのだろうか?



図②のようなシミュレーション図も、今までの基礎の解説から根拠が曖昧であることが分かります。給気口を基礎に設置すると、地表熱の影響や夏の露を引き込む危険から、給気口は、最低120センチ程度の高さを必要とします。梅雨時の湿気も基礎に吸い込み、基礎内部がカビるとともに、土台が腐る原因にもなります。暖冷房熱を躯体に通気させて室内に給気していますが躯体の掃除は不可能です。給気口がシロアリの侵入経路になる危険性もあります。表示されている18℃の地温も残念ながら活用不可能です。



図①のような、地中熱を利用する事が出来るという模式図を目にしますが、このような模式図を掲載している施工店は信用しない方がよいでしょう。基礎断熱はあくまでも地表熱の影響を少なくするために必要な施工ですから、このような宣伝に惑わされてはいけません。単純に地中熱を活用する場合でも最低10mの掘削が必要です。地中熱は自然エネルギーの利用方法として国の推奨もありますが、本格的に地中熱を活用するためには大変な設備が必要になります。このように簡単には利用できないものです。

図①のような、地中熱を利用する事が出来るという模式図を目にしますが、このような模式図を掲載している施工店は信用しない方がよいでしょう。

工法シリーズ 49 地中熱の利用は、こんなに簡単には出来ないのです。

何かが? 本物とは、何か? 百年住宅を建てる知識②!